

佐 賀 新 聞

吉野ヶ里町

認知症予防やその相談、憩いの場

となる認知症カフェが、吉野ヶ里町目達原の「すずめカフェ」で月 1 回開かれている。同町社会福祉協議会が町から委託を受けて今年 4 月にスタートした。「すずめカフェ」の利用者だけでなく、一般の人が参加することもでき、同社協は「多くの人に触れ合ってもらいたい」と話している。

13 日に開かれた「ハーバリウムづくり」では、西九州大（神埼市）の健康福祉学部健康福祉学科の山口玲子助教や学生と利用者ら約 20 人が楽しんだ。利用者は学生たちとの会話を笑顔で

認知症カフェで笑顔

吉野ヶ里町社協「触れ合いの場に」



西九州大の学生（右）とハーバリウム作りを楽しむ利用者たち＝吉野ヶ里町目達原の「すずめカフェ」

楽しみながら集中して作業を進めた。

作品を手にした利用者は「こういうアイデアは自分たちだけだと思いつかない。楽しく作ることができた」「水を入れることで色がきれいになった。上手に作ることができた」と喜んだ。石橋和樹さん（21）＝久留米市＝は「地域の人が集まる場所があることはいいこと。場所づくりは大事だと感じた」と話した。

基本的に毎月第 2 水曜日の午前 10 時半から正午まで開いている。問い合わせは同社協、電話 095-2（52）7831。

（小部亮介）